

JTA、本土～沖縄直行チャーターを運航！

2004年度第4四半期、36本106便運航

久米島・奄美が新登場！離島の魅力がますます広がります！

2005年1月14日

第04058号

日本トランスオーシャン航空（JTA、本社 那覇市、社長 市ノ澤武士）は、このほど今年度第4四半期（2005年1～3月）の「農協観光 本土～沖縄直行チャーター」運航計画を決定しました。

農協観光チャーターは、2001年度下期に同社の沖縄送客キャンペーンの一環として初めて運航し、ご利用のお客様にも大変ご好評をいただいたことから、キャンペーン終了後も毎年度下期の運航が定着しています。

今回は、北海道から九州まで全国22空港から出発し、第4四半期としては過去最大となる36本106便を運航します。チャーター便が全て満席となった場合には、5,400名の皆様にご来沖いただくこととなります。

なお、目的地には、これまでの宮古・石垣に加え、新たに久米島・奄美の両島が登場。新球団「東北楽天ゴールデンイーグルス」の春季第1次キャンプ地である久米島へは、球団設立に沸く東北各地から7本を運航します。

JTAは、これからも定期便とチャーター便の双方を活用して需要喚起に努め、沖縄観光の発展に貢献して参ります。

今年度第4四半期のチャーター便運航計画概要は下記の通りです。

運航期間	2005年1月20日(木)～2月27日(日)		
	* 初便到着：久米島1/20(木)、石垣1/21(金)、宮古1/24(月)、奄美2/24(木)		
運航便数	36本106便 計15,900席（本土 先島の入域ベースでは36便5,400席）		
出発空港	函館、青森、秋田、花巻、仙台、福島、富山、名古屋、岡山、鳥取、米子、出雲、石見、山口宇部、高松、徳島、松山、高知、佐賀、熊本、宮崎、鹿児島（計22空港）		
使用機材	ボーイング737-400型機（150席）		
ご旅程	本土各地	石垣島(2泊)	宮古島(1泊) 本土各地
	本土各地	久米島(1泊)	那覇(2泊) 本土各地 など
用機者	株式会社農協観光		
運航会社	日本トランスオーシャン航空株式会社		

【JTAチャーター便運航実績】

年度	第3四半期(10～12月)	第4四半期(1～3月)	下期計(10～3月)
2001	114便/13,200人/17,060席	55便/7,502人/ 8,267席	169便/20,702人/25,327席
2002	51便/ 5,960人/ 7,650席	54便/7,385人/ 7,385席	105便/13,345人/15,750席
2003	62便/ 8,402人/ 9,300席	72便/9,816人/10,800席	134便/18,218人/20,100席
2004	72便/ 9,094人/10,800席	119便/-----/17,850席	191便/-----/28,650席

注) 斜体字(2004年度第4四半期および下期)は計画値です。

上記には株式会社農協観光以外のチャーター便を含みます。

以上